

A66c **Tsukuba Astronomical Observatory** における変光星の長期間モニター観測

清田誠一郎 (VSOLJ)

TAO Tsukuba Astronomical Observatory は、自宅のベランダ観測所である。口径 20cm の望遠鏡と CCD で、変光星・新星の測光と分光観測を行っている。自宅であることから、望遠鏡の使用時間に制限が無い等、長期モニターに向いている反面、ベランダの向き関係で、観測可能時期や観測できる星に限られるのが欠点である。これらの観測の中で、V4638 Sgr(1994-)、V5097 Sgr(2001-)、V838 Mon(2002-) 等、長期間に渡ってのデータが取得できた。このうち、V4368 Sgr については、新星とされているが、減光が遅く、 t_3 を決定するには、さらに数年のモニターが必要と思われる。これらの観測結果を紹介するとともに、自宅天文台での小口径望遠鏡での観測について利点欠点について簡単に報告する。